

# 先進的な取組事例13 三重県伊勢市

## ●取組みの背景と経緯（取組み経緯のパターン：行政先導型）

ポイント：**・以前から、マイバッグ全戸配布、指定ごみ袋制度など、取組みの素地があった。**  
**・レジ袋有料化に意欲を持つ学識者が、市長に直接働きかけたのが一つの要因。**  
**・当初より開始目標時期を設定し、スピーディに話し合っ、決定して実施。**

- ・平成13年12月に伊勢市オリジナルマイバッグを全戸に配布。平成15年4月から可燃ごみの指定ごみ袋制度を導入し、もともとレジ袋でゴミを出せない体制が整っていたと言える。従ってレジ袋有料化も市民の方々のご理解ご協力を得ることができ、スムーズに実施できた。
- ・レジ袋有料化実施前のスーパーでのマイバッグ持参率は約22%と、初めからかなり浸透率が高かったと言える。これは、上述の背景に加え、もともと伊勢市の人口の流動が少ないこと、また市民感情に「もったいない」という気持ちがあったことなども要因に上げられると思う。
- ・取組み検討の当初より携わる学識者が、市長に働きかけたのも一つの要因となった。5月に準備会、6月に懇談会、キックオフイベント開催。7月に共同記者発表、そして9月に協定を結び、レジ袋有料化を実施。他市に先駆けたという思いもあり、スピーディーに展開。
- ・平成19年度三重県ごみゼロ社会実現プラン推進モデル事業として、県から幅広い支援を受けた。

## ●取組み内容

ポイント：**・三者協定により、食品スーパー全店で有料化、商店街でポイント制・啓発等を実施。**  
**・マイバッグ持参率は、取組み1ヶ月後の段階から約9割を達成。**

- ・平成19年9月から三者協定により、市内全域の主要スーパー全店においてレジ袋有料化、10商店街においてポイント制、マイバッグ持参・レジ袋削減の啓発等を実施。
- ・「レジ袋大幅削減・マイバッグ持参運動」として実施。地球温暖化防止と循環型社会構築に向けた環境配慮を目指し、地域レベルでのレジ袋削減・マイバッグ持参運動の推進を図っている。
- ・レジ袋有料化から1ヶ月後のマイバッグ持参率は約88.8%、また2月は90.2%を打ち出し、はじめから9割近くに到達していた。「マイバッグ持参率＝（レジ通過客数－レジ袋購入者）÷レジ通過客数」で計算し、毎月事業者から伊勢市内の店舗の平均データを提出してもらっている。

## ●成功要因

ポイント：**・市民・事業者の理解と協力を得て、協働の仕組みづくりを構築。**  
**・検討会の名称などについて議論を尽くし、自由に話し合い意見を出し合った。**  
**・学識者の指導、トップ関与の明示などで、現場が動きやすくなった面もある。**

- ・キーポイントとしては、市民・事業者・行政が連携・協力して取り組んでいく仕組みづくりを構築することである。市民の方々のご理解やご協力がなければ話を進めることはできない。
- ・6月に「ええやんか！マイバッグ（レジ袋有料化）検討会」を設置。マイバッグ持参によるレジ袋の大幅な削減と、その有効な手段としての方策などについて、市民・事業者・行政が自由な立場で意見交換や情報交換を行った。
- ・同会の名称を決定するのに1時間半ほどかかった。「有料化」という言葉を使うか否か、参加メンバーで検討に検討を重ね、意見を出し合い意思統一を図ってこの名称に決めた。名称の検討をきっかけにメンバーで自由に話し合い意見を出し合ったことが、成功のポイントではないか。
- ・学識者の指導もあり、ポスターに市長を登場させるなど、市トップの関与を明示することで現場が動きやすくなった面もある。

## ●問題点、課題と対策

ポイント：・CVS、DS、HC、商店街など、市内全店舗への拡大を検討。

- ・仕事帰りのサラリーマンなど、次なるターゲットにおける取り組みの促進。
- ・レジ袋削減をきっかけとする、ライフスタイルの見直しの促進。

- ・コンビニ、ドラッグストア、ホームセンター、小売店舗への拡大を図り、ゆくゆくは市内全店舗で有料化を実施したい。
- ・また、仕事帰りのサラリーマンにもマイバッグを持参してもらえるように推進する。(京都でも男性サラリーマンや学生は持参率が低い) 次のターゲットとして推進は不可欠である。
- ・レジ袋削減をきっかけに、ライフスタイルを見直すきっかけづくりになればと考える。また、レジ袋削減は、市民と事業者が一緒になって取り組める運動だからこそ、きっかけづくりとして捉えている。

## ●取り組みの様子



## ●まとめ

- ・三者協定により、食品スーパー全店で有料化、商店街でポイント制、啓発等を実施。
- ・学識者の指導、トップの関与もあり、当初より開始目標時期を設定し、スピーディに実践。
- ・取り組みの素地を活かし、三者で自由に議論を尽くし、1ヶ月後の段階から約9割を達成。

照会先 伊勢市資源循環課

〒516-5548 三重県伊勢市岩渕 1-7-29

電話番号 0596-21-5543 電子メール [sigen@city.ise.mie.jp](mailto:sigen@city.ise.mie.jp)